

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	総合政策部
	18004	市制施行15周年記念事業	課名	政策課 広報秘書G
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務	会計
	基本施策	02:市民参画・協働の推進と多様な交流活動の促進	科目	01:一般会計
	施策の方向	03:市民交流・地域間交流の促進	目	02:総務費
戦略プロジェクト	-	目	01:総務管理費	
事業予定期間	H 30 ~ R 1 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市表彰条例 亀山市表彰条例施行規則	

目的・概要	対象	市民、市民団体、表彰対象者、本市に関わりのある方
	目的	令和2年1月11日に市制施行15周年を迎えるにあたり、市民と共に記念すべき節目を祝うとともに、市民交流の促進を図る。また、市民が、新しい時代における市の将来に夢と希望を持つことにより、市に対する誇りや愛着の醸成を図る。
概要	概要	市制施行15周年を記念した式典を催す。式典については、市政の振興発展に寄与された方々の表彰や名誉市民及びこれからの亀山市の未来を担う子どもたちの参加を得るなど、市民交流を促進するとともに市の将来に夢と希望を育てるものとする。また、市に対する誇りや愛着の醸成を図るため、市勢要覧を作成し、配布を行う。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	記念式典の開催 ・功労表彰等 市勢要覧の作成及び配布 「合併15年の歩み」動画の作成			
	年度実績	○記念式典の開催 ・参加者858名 ・記念式典にて表彰 (功労表彰24名・特別表彰6名、10団体) ○市勢要覧の作成及び配布 ・2,000冊作成、984冊配布 ○市制施行15周年記念特集動画制作 ・亀山市15年のあゆみ、名誉市民特集動画			
	事業費	計画額	事業費	11,900千円	
			国庫支出金		
			県支出金		
			地方債		
			その他		
	一般財源	11,900千円	0千円	0千円	
	事業費	予算額	事業費	10,917千円	
			国庫支出金		
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	10,917千円	0千円	0千円		
事業費	決算額	事業費	9,849千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
一般財源	9,849千円	0千円	0千円		
人件費	人件費	総人件費	6,750千円	0千円	
		一般職員	6,750千円	0千円	
		所要人員	0.86		
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	
総コスト(+)		16,599千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度
指標	名称	記念式典来場者数	計画値	700	
		市制施行15周年記念式典における来場者数	実績値	858	
			単位	人	
	名称	市勢要覧配布数	計画値	1,000	
		市制施行15周年記念式典等における市勢要覧の配布数	実績値	984	
			単位	冊	
名称		計画値			
		実績値			
		単位			

事業の改善行動	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>令和2年1月11日に、市制施行15周年記念式典を挙行し、功労表彰24名及び特別表彰6名、10団体に対して表彰を行うとともに、市勢要覧を2,000冊作成し、記念式典をはじめ本市への来訪者や研修会などに合計984冊配布した。また、市制施行15周年記念特集動画（亀山市15年のあゆみ、名誉市民特集動画）を制作し、記念式典、行政情報番組、YouTubeにおいて放映、掲載を行うとともに、市広報に特集番組や市勢要覧の紹介を掲載した。さらには、15周年と市勢要覧を紹介する名刺台紙を作成した。</p>	A 計画どおり実施できた
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>名誉市民やこれからの亀山市の未来を担う子ども達の参加を得た記念式典を開催し、858名（市職員除く。）の市民や本市に縁のある多くの関係者とともに記念すべき節目を祝うことで、市民間の交流促進を図ることができた。また、自然・歴史・産業が調和し、未来に向け着実に歩み続ける亀山市の姿をわかりやすく伝える市勢要覧の配布や、市制施行15周年記念特集動画を制作・放映することなどにより、市の将来への夢や希望、市への誇りや愛着の醸成に繋げることができた。</p>	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>市民に記念すべき節目の年であることを広く認識していただくとともに、年間を通して市民が参加できる周年事業や取り組みを実施し、連帯感の醸成やまちづくりへの参加意識を高める必要がある。</p>	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <p>【その他の場合、その内容を記載】 令和元年度で事業完了</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>15周年の期間中は、市勢要覧等の配布や情報発信、イベント開催時等の様々な機会を通じて、引き続き市制施行15周年の記念すべき年であることを市民周知する。また、年間を通して広く市民が参加できる事業の実施など、一層市民交流等に繋がる企画を次期の記念事業の際に検討していく。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>都市成長や未来に向け歩み続ける亀山市の姿を市民により感じてもらうことで、新しい時代における市の将来に夢と希望を持ち、市に対する誇りや愛着の醸成が図られる。また、広く市民が参加できる事業や市内外に情報発信できる事業を、次期の節目の年の事業として実施することにより、市民交流、地域間交流を促進し、市民や市民活動団体間の相互理解や連帯感が醸成される。</p>	
対応時期		令和2年度、令和6年度	

【1次評価者】	総合政策部 政策課 広報秘書グループリーダー 松岡 保範
【最終評価者】	総合政策部 政策課長 笠井 武洋

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	A		
	成果	/	/	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		10,917 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	10,917 千円
	令和2年度への繰越額	千円